



あなたの机上へ

民族性と神話

松村武雄著

わが國童話教育並びに神話學の權威として高名なる松村氏の近著である。書名でも知れる如く、世界各地の民族性と神話との交渉關係で、神話が如何なる程度に民族性や民族精神を寫し出す淨玻璃となつてゐるかを、ごく平易に且つ興味的に解きはぐされたところの書である。

各個人が個性を有つと同じく諸民族は、民族としての個性を有してゐる。これが神話の構成内容を如何に決定してゐるか、いかに反映してゐるか、又學界で如何に取扱はれてゐるかに就いては序説に委しい。次に章を分けて各民族のそれについて説かれてゐる。

一、埃及人の民族性と神話——死後の

生活を重く見る。従つて墳墓に對する關心と努力が非常に強く、ためにピラミッドの出現を見たと言はれてゐる。現世を面白く享樂し、その上で死後の肉體を大事にして再び現世に還らうと希つた。その神話は、如何に様々の呪術的宗教的手法を嚴守すれば目的が達せられるかを説いたものが多い。

二、希臘人の民族性と神話——現實世界を心から肯定し、知力的理性的な心性、整正調和への憧れ、美の執着が強く、死後の生活を極力嫌惡した。神々の形が動物態で現はされる事は殆んど無く、人間生活を愛好する結果、神話に於ける神々が殆んど人態的である、所に特異性を持つてゐる。

三、羅馬人の民族性と神話——羅馬人

は實際的功利的で、秩序組織を愛し堅忍不拔の氣象と勇武心に富んでゐる。神話も國家をより強健にし、國民をより道德的に利用する實用的な行き方であつた。國家建設を説くものが多い。

四、北歐人の民族性と神話——荒削りながら壯大味があり、遲鈍と見えて持續力が大であるこの民族の神話は、素純な雄大味、剛健な英雄主義なものが多い。

五、ケルト人の民族性と神話——豊かな想像力と微妙な詩的情緒に恵まれた民族である。神話は神祕な國土の美と怪異とで充ち満ちてゐる。

六、日本人の民族性と神話——日本神話を貫く主旨は國家皇室を中心とする建國精神である。之が我が國神話の冒頭に於て力強く現はれてゐるのは周知の事である。保母であるから、童話に興味を持つてゐるからといふ理由は兎も角、日本民族の一人として斯ういふ本は讀んで置くべきであらう。

(培風館、參圓八拾錢) 新庄よしこ